

1. 科目名（単位 数）	教育学概論（初等・小）（2 単位）	3. 科目番号	EDTE1101
2. 授業担当教員	黒田 智隆		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	小学校教育などの道に進もうとする意欲を求めます。		
7. 講義概要	本科目は教育という営みに深い関心を持ち、「教育とは何か」ということを考え始めている人に対し、教育(学)の基本的な概念と基礎理論について概括することを通して、受講者一人ひとりが、教育(学)の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化をふまえた「よりよい教育」のあり方を考える上で求められる基礎的知識の修得を目的とする。具体的には、主に教職に携わるための土台となる教育の基本的概念や理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかについて、受講者同士の対話をとおして理解を深めて行く。		
8. 学習目標	本講義は、本科目の目的を達成するために、以下の目標を設定する。 1. 教育学に関する基礎的・基本的内容を確実に習得すること。 2. 教育のさまざまな側面に触れることで、各自のこれまでの教育概念を揺さぶり、それぞれが教育という営みを再考できるようになること。 3. 教育に関する代表的な論考やアプローチから教育の射程の広さを学び、教育理解に関する柔軟さ、そして教育実践における覚悟と責任と寛容さを培えるようになること。 4. ディスカッションや発表を通して、表現力やコミュニケーション能力の向上を図ること。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	アサイメントは毎週課しますが、内容はその都度異なります。主なものは、（1）次回の授業内容に関わる指定のテキストを読む；（2）授業内容について自分の意見をまとめたものを書く、の二つです。 また、毎時間簡単な小テストや小レポート課題を実施し、堅固な知識を身につけてほしいと思います。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 金龍哲、深沢和彦編『教育の原理と実践』三恵社、2024 年 3 月（出版） 【参考書】 広田照幸『教育論議の作法：教育の日常を懐疑的に読み解く』時事通信社、2011 年		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 教育学の基本的概念・教育に関する歴史・思想を理解しているか。 （知識・理解） 2. 教育理解に関する柔軟さ、保育・教育実践に求められる態度・姿勢を身につけることができたか。 （関心・意欲・態度） 3. 教育学に関する基本的な理論を理解した上で、教育という営みを再考することができるようになり、ディスカッションや発表を通して自分の意見を伝える力を身につけることができたか。 （判断力・表現力） 以上の観点をふまえ、下記の 1～3 によって評価する。 ○評定の方法 【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】 1. 授業への取り組み姿勢（ディスカッションやグループワークへの積極的参加度） 総合点の 3 0 % 2. 授業内での課題提出（小テスト・中間レポート等） 総合点の 4 0 % 3. 期末課題 総合点の 3 0 % 総合点の 3 0 %		
12. 受講生への メッセージ	教職課程の学習をするということは、教わる側から教える側への方向転換をする作業の開始ということです。教育の不易と流行、そしてこれからを楽しく学習しましょう。		
13. オフィスアワー	第 1 回目の講義でガイダンスします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	教育の概念・子ども観	事前学習	これまで受けてきた「教育」の意味を考える。教科書を概観する。
		事後学習	教育学に関係のある教育分野について調べ、ワークシートにまとめる。
第 2 回	教育とは何か	事前学習	教科書 pp. 1-15 を読み、教育の定義と意義・目的に関する予備知識を持つ。
		事後学習	子ども観の背景にある物を考える。
第 3 回	学校教育の制度的展開	事前学習	教科書 pp. 16-31 を読み、教育と児童との関連性に関する予備知識を持つ。
		事後学習	西洋の子ども観と日本の戦後家庭教育の変遷と子ども観をまとめる
第 4 回	教育の思想家たち	事前学習	教科書 pp. 23-45 を読み、古代から中世の教育と教育思想に関する予備知識を持つ。
		事後学習	「古代から中世の教育と近世からの教育思想」についてワークシートにまとめる。
第 5 回	発見された子ども	事前学習	教科書 pp. 46-57 を読み、近世からの教育思想等に教育予備知識を持つ。
		事後学習	「教育思想と子ども観の関係」についてワークシートにまとめる。
第 6 回	教育課程の編成	事前学習	教科書 pp. 58-71 を読み、教育課程編成とカリキュラムマネジメントの予備知識を持つ。
		事後学習	学ぶということ・目標・評価・学力カリキュラム開発まとめる。
第 7 回	2 1 世紀型学力	事前学習	教科書 pp. 72-85 を読み、学力カリキュラム開発の予備知識を持つ。

		事後学習	学力とは何かについてまとめる。
第 8 回	知ることを学ぶ	事前学習	教科書 pp. 127-152 を読み学習過程と形態・メディアとしての教材と教科書・学びの空間デザインの予備知識を持つ。
		事後学習	学習過程と形態についてまとめる。
第 9 回	教科としての道徳教育	事前学習	教科書 pp. 98-117 を読み、「学校教育の機能」と道徳教育についての予備知識を持つ。
		事後学習	「生徒指導・教育相談についてまとめる。
第 1 0 回	生徒指導の意義・原理・構造	事前学習	教科書 pp. 118-132 を読み、「学校教育の機能」と生徒指導・教育相談についての予備知識を持つ。
		事後学習	教職の専門化についてまとめる。
第 1 1 回	学級経営—学ぶ集団を育む	事前学習	教科書 pp. 133-146 を読み、教師の力量について予備知識を持って参加する
		事後学習	学習指導要領と学校教育についてレポートにまとめる
第 1 2 回	学校経営	事前学習	教科書 pp. 147-160 を読み、学校間のカリキュラムや指導原理についての予備知識を持つ。
		事後学習	「教育の接続」についてまとめる。
第 1 3 回	教育行政、保育と幼児教育	事前学習	教科書 pp. 161-208 を読み、生涯学習に関する思想についての予備知識を持つ。
		事後学習	生涯教育・社会教育の理念と意義をワークシートにまとめる。
第 1 4 回	文化の多様性と教育	事前学習	教科書 pp. 209-222 を読み、現代社会の教育的課題に関する予備知識を持つ。
		事後学習	「現代社会における教育課題」について、まとめる。
第 1 5 回	教育改革の動向	事前学習	教科書 pp. 223-236、配布資料を読みなおし、これまでの 14 回の授業内容を振り返る。
		事後学習	授業内容を踏まえたうえで、理解が不足していた点を再度学習する。
期末試験			